

が ん ば

島三小育友会報
発 行 部
広 報 部

【第90号】



老少、春に発つ

明日を迎えるために、
楽しかった、苦しかった、
でも、頑張った。
巣立つ六年生に励ましを、
新一年生に明るさを。

子供の幸福

会長 小島 健



長女の三小入学と同時に育友会
員となり九年、今度は長男と一緒
に卒業のときを迎えました。

私自身も三小の卒業生であり、
子供の頃の思い出もありますが、
親として子供と共に過した歳月は
また違った感慨深さをもって記憶
に残ります。

育友会の行事、子供会の行事に
一喜一憂させられながら過ごした
小学校育友会時代が終わろうとす
るとき、果して自分は子供のため
良き父親であつたらうかと反省の
念にかられてきます。

九州ブロックPTA研究大会の
あるパネラーは、フランスの思想
家ルソーの「子供を不幸にする一
番確実な方法は、いつでも何でも
手に入れられるようにしてやるこ
とだ」世界で一番有能な先生によ

つてよりも、分別のある平凡な父
親によってこそ、子供は立派に教
育される」という格言を引用して
『与えられ続けるものに感謝の気
持ちは湧くはずがない。不自由を
味わってこそ満たされた時の喜び
を感じる事ができるのだ。一円
の収入もあげ得ない生徒や学生に
車やバイクを買い与え、冷暖房付
きの勉強部屋をつくっても子供は
親の期待に応えてくれない。金品
はあり余って目的意識がまるでな
いからだ。今、教師に欲しいのは
使命感、父母に欲しいのは責任感
である。子供が何かやかすと、
「そんな子供に育てた覚えはない」
という父母のあわれな姿を見るに
つけ、同情よりもその無責任さに
いきどおりを感じる』と述べてお
られます。

子供達は年々歳々大きく成長し
て行きます。世の中の価値観も大
きく変化しています。小学校から
中学、高校へと、今まさに父親が
出番の時代ではないでしょうか。

教頭 平野 昭二



教職37年をふりかえって 「サッカーは我が人生」

月日が経つのは早いもので、私教職について、三十七年を迎え、しかも還暦の年になりました。

昭和二十五年三月、山田村立山田中学校（現在の吾妻町立吾妻中学校）の教諭として赴任し、新任として情熱を燃やし過した二年七月、昭和二十七年十月、多比良町立多比良中学校（現在の国見中学校）に転動した。当時二十五才で、教員生活にもなれ、二十八年

に初めてサッカー部を創設し、部員十九名を引きつれ、がむしやらの練習と指導をし、毎週日曜日、島二中と練習試合をやり、遂に三十年頃、二中に勝ち、生徒と喜び合った思い出が印象深く残っている。

る。その当時の生徒が今四十四才位である。

昭和三十六年四月、有明村立有明中学校に転動し、その後、有明町立有明中学校と改名、二年間勤務、ここでもサッカー部を作り、生徒と暗くなるまで練習した思い出を今も忘れない。

昭和三十八年四月、待望久しい島二中に転動し七年間勤務した。この島二中時代は、私にとつて一生忘れることのできない快挙をやつてのけたことである。それはサッカーを指導し、市中体連で優勝し、県大会でも優勝、当時は全国大会はなく、最高の試合とされて

いた、西九州サッカー大会で優勝し、その年の二月二十三日、長崎県で制定された第一回目の県スポーツ賞を部員全員授賞し、翌日、新築完成した体育館の落成式に、県スポーツ賞の盾十五個をステージに飾り、二中育友会や全校生徒から祝福を受け、市主催で市役所から広馬場までパレードした思い出は、私にとつて最高の幸せでした。

昭和四十五年より七年間、市教育委員会に勤務し、昭和五十二年四月、島二小に勤務、私にとつて小学校の教員生活は初めてで不安だったが、幼い児童の元気な姿に勇気づけられ、四年間務めた。こ

を作り、児童と練習に汗を流し、五十四年夏、県小学校サッカー大会で優勝、東京都で行われた第三回全国少年サッカー大会に出場したことも楽しい思い出となった。

その後、三会中学校に二年間勤務し、昭和五十八年四月、島三小に転動し四年を経過しました。三小は伝統と歴史があり、しかも育友会と職員が一致協力し、子どもの幸せのため努力され、特に育友会活動の活発なことに感激し感謝しております。

この四年間、私なりに教育に努力してきたつもりですが、今ふりかえてみると、本当に何をしたのか、はずかしく申し訳なく思っています。

私は、サッカーを通して、児童生徒の教育をとの信念でやってきました。自己をきたえ己に勝ち、自己を信頼し、友情を温め、奉仕の心を持ち、立派な児童生徒として果立つことを念願しています。最後にになりましたが、育友会の皆様の御協力、御指導により大過なく勤務でき、退職できることを心から感謝申し上げます。島三小のますますの発展と、島三小育友会の皆様のご多幸とご健康を祈念し、あいさつにかえたいと思います。

日曜日に 父親参観を!!

学級部長 相良 耕作

長い一年間の中で会員の皆様方には色々とお迷惑のかけ通しで、途中では、なぜ常任委員を引き受けたのだろうと後悔し、申し訳な

さで一杯でした。学級部としての行事は、実質上代議員研修会のみという有様で、さんざんの年にしてしまいました。会員の皆様、代議員の皆様、担当をいただいた先生方・部員の方々には、気まぐれな私の為に御心配をおかけいたしました。深くおわび申し上げます。

ただ例年続いていていた父親参観が今年度は取り組みが遅れたのと、出来れば日曜日に開催できないものかと、県・市等の教育関係者の方々に相談しましたが、法律的解釈の違いで不調に終わりました。

ただ自身の感じでは、父兄の皆様方の盛り上がり、先生方の御理解と御協力ができあがれば、法的には越え得る問題であると思

います。来年は、きっと素晴らしいファイトある方が担当されて、実現していたいただきたいと心より祈念致しまして、一年間、皆様方の温かい御配慮に感謝して、御礼の文と致します。

ご協力

ありがとうございます

ございました

体育部長 児玉 勝利

三月に入り、春のおとずれと共に今年度の育友会行事がまもなく終ろうとしています。

体育部活動におきましても、会員の皆様方にはご協力を頂き大変ありがとうございました。お陰をもちまして、年間行事すべてを無事終了することができました。

七月の校内球技大会、九月の「親子スポーツの日」における町内対抗相撲大会と親子フットベースボール大会、三小運動会の参加種目（町内対抗リレー）、十一月の町内対抗バレーボール大会等が主な体育部行事ですが、その他に市ソフトボール大会及びフットベースボール大会、市P連主催のバレーボール大会、それに相撲大会等に参加の際は、会員皆様にご迷惑をおかけ致しましたが、児童の健全育成と会員相互の親睦の目的の為、これからもご理解とご協力をお願い致します。最後にになりましたが、土俵整備の際は、各町内より多数ご参加いただきありがとうございました。

今後の 三小育友会の 発展を願って

環境部長 阿比留 寿海

今年度環境部で計画しておりますのは、次のとおりです。
一、六・九月に市民清掃への協力
二、ゴミカンの点検及びゴミの定期的取捨
三、体育部と合同で土俵の整備
四、プール周辺の整備及び草とり
作業

一、三、四に関しては、町内代議員の協力で、計画どおりできまじり。特にプール周辺の整備及び草とりは、小雨の降る中、本当に御苦労様でした。二のゴミカンの点検及びゴミの定期的取捨と遊具施設等のペンキ塗りは、新役員の方にお願ひします。

私は、愛護・情緒学級の代議員をし、我が伝統ある三小の常任員に選ばれた事を感謝致しております。しかし、何もできなかった事を深くおわびいたします。

今後共、愛護・情緒学級の子供達を、今まで同様よろしくお願ひ致します。子供が卒業し、私も三小育友会とも別れますが、子供達の健全育成の為、今まで同様協力をお願いしますつもりであります。

最後になりましたが、「がんば」を通じて三小育友会の方々には、子供がお世話になりました事をお礼申し上げます。本当に長い間お世話になりました。

教養部の一年を省みて

教養部長 友 永 峰 昭

本年度教養部が主管した行事は次のとおりです。

まず研修旅行は、九月十七日熊本グリーンビックを視察しました。参加者は四十二名で自然と未来科学に触れ感動的であり有意義な一日であったように思います。

次に教育講演会ですが、十二月三日、白山公民館において開催しました。

今回は顕著で卓越したサッカーの指導者である国見高校サッカー部監督小嶺忠敏教諭を講師にお招きし、「組織と個人のかかわり」について講演して頂きました。話しは先生の生い立ちに始まり、人との出会い、そして人間の深い結びつきの尊さなど、時にはユーモアを交えての体験談は参加者二百余人を魅了したようで、皆さんの意見もなかなか好評でした。

以上が教養部の行事ですが、今後の課題として、研修旅行を三、五年に一回位は他校の視察に充ててよいのではと思つた次第です。この一年間、無事行事を終了して一番感じました事は、部員方々の支援が最も大切だということでした。最後になりましたが、会員皆様と部員各位のご協力に対しまして衷心よりお礼を申し上げます。

有意義な 町内訪問

生活部長 高見 利 則

六十一年度生活部活動も残りわずかとなって参りました。副部長の吉田さんを始め、先生方、役員さん、会員の皆様の御協力、御指導を得て無事終了する事ができ、厚く御礼申し上げます。

活動の内容を報告致します。

◎六月 生活標語募集及び配布

◎七月八月 町内訪問

◎十二月 冬休母校外補導

◎三月 初市巡視

特に私として心に残りましたのが、町内訪問活動でした。

ある町内は、夫婦同伴の参加でユーモアいっぱい熱心な話し合い、所によつては、大きな悩みを持ち、必死で相談されるお母さん、この機会を持ち、三小生徒全員が明るい学校生活を送る事ができます様、願わずにはいられませんした。

最後に私の感想としましては、今後町内訪問だけは続けられませう様、御願ひ致します。

自転車事故防止を願って

交通部長 熊 本 勇 治

交通部では、自転車点検、自転車安全コンテスト、それに毎月五日の交通指導を今年の行事計画としてあげておりました。

自転車点検は、七月に市内自転車店の方々に手伝いをお願いいたしました。三八九台中三四〇台が点検にパスし、TSマークが二七四台と、予定以上の自転車が集まりました。整備不良の車をなくそうと三小マークを発行したのがよかつたと思ひます。

十月には自転車安全コンテストを予定しておりましたが、私達交通部の計画があまく、実施できませんでした。そのかわり、今月の二十六日、十時〜十二時まで三小運動場で自転車ひろげを開催いたします。新三年生から対象に乗り方、マナー、安全運転等を主に行いたいと思ひます。

五日の交通指導は、全校区的にまだ行なわれていなく、特に新学期には、各町内の危険な所に指導に立っていただきたいと思ひます。

今年一年間、交通部に協力ありがとうございました。



(初市)



(遠足のべんとう)

お母さんの

べんととう

一年一組

おれた たくや

きようは、うれしいえんそくです。あさおきて、雨がふっていません。あさおきて、雨がふっていません。学校で、赤白にわかれて、つなひき大かいがあって、ぼくたちは一かいめはまけたけど、二かいめでかちました。

六年生のおにいちゃんたちが、

アブラハムって おもしろいね

一年二組

川口 ゆうすけ

えんそくのまえに、アブラハムのおどりとつなひきをしました。アブラハムるとき、おどりがわからなくなつて、ぐちゃぐちゃにおどりました。たくるうくんが、「アブラハムっておもしろいね」といったので、ぼくが、「うんおもしろいね」といいました。

だだまころがしをして、四くみが一ばんで、一くみは四ばんでした。そして、あるいてかんのんこうえんまでえんそくにいききました。

ついでから、ぶらんこぞうさんのにのりました。こおりおにもしました。

それから、おかあさんがつくつてくれたべんととうを、おともだちとたべました。

かえりには、しゅうだんげこうでかえりました。とてもたのしかったです。

つなひきのとき、一かいめ赤くみがまけて、二かいめ先生がてつだったのでかちました。どうてんになりました。とつてもおもしろかったです。

学校からずつとあるいて、けんじくんやみずきくんのいへのまえをとおり、かんのんこうえんにつきました。ちよびつとあそんでごはんをたべました。

あそびがおわつて、ならんでサッカーじょうにいつて、おもいきりあそびました。

おわかれえんそく



えんそく

一年三組

もり ようすけ

あさおきて、そこを見ると、いいてん気だったので、えんそくにいけるとおもつて、うれしくなりました。

学校につくと、さいしょ、つなひきをしました。ぼくは、赤チームなので、赤がかつようにがんばりました。でも、どうてんだったので、ちよびりさんねんでした。そのあと、ダンスをしました。ジエンカです。ながいぎょうれつを

えんそく

一年四組

よねた しげき

おもいであそびのつなひきをするとき、手がいたくて、いたくて手をはなしそうになつたけど、いっしょうけんめいがんばりましたよ。

ぼくは、三小にこんなふとくてながいなわがあるとはしらなかつたよ。

べんととうはとてもおいしかった

つくつておどりました。とてもたのしかったです。

ダンスのあと、かんのんこうえんまで、えんそくにいききました。そこで、トンネルくぐりをしました。トンネルの中は、くらかつたので、ともだちにぶつかりました。でも、おもしろかつたので、なんかいもくぐりました。

おひるになつて、おべんととうをたべました。いいてん気だったので、気もちがよくて、そとでたべるべんととうは、さいこうでした。でも、六年生のおにいさんやおねえさんとは、わかれのえんそくだとおもつたら、ちよつとさみしいきました。

よ。みんな、かえたりやつたりしながらたべたよ。おかしもわけあつてたべました。そのようにしたら、とつてもおいしかったよ。このつぎのえんそくも、こうやつてたいです。

べんととうのあとのおにごっこはとつてもおもしろかつたです。じょうずにかくれたりして、さいごまでつかまらなかつたよ。だからぼくが、おにごっこ「チャンピオン」になつた。とつてもうれしかったよ。



お別れ遠足

六年一組

三浦 順 二

ぼくたち六年生は、この遠足が小学校生活で最後の遠足でした。お別れ遠足の行き先は、市営サツカー場でした。ぼくは、またあそこに行くのかとちよっぴりいやだったけど、少し期待をしていた。まず、思い出のつどい集会があった。なにをするんだらうと思ったら、リレーなどをして思い出に残る集会にしようということだった。

応えん席に行ったら少しあって、一・二年生の綱引き、三・四年生のコーヒークップリレー、五・六



年生の頭上大玉転がしリレーなどの楽しい種目があった。する方も見る方も楽しくて、応えんに熱が入ったりしていた。それから、やっと遠足の目的地にむかって歩き始めました。歩いていくうちに足がきつくなったりしたけれど、一生けん命に歩きました。

目的地に着いた時にはうれしかったけど、先に腹がへっていている時は、くるしかったことも全部忘れて、みんなと楽しくご飯を食べました。

帰りは、町内のみんなと歩いて帰りました。でも帰るときには、小学校生活最後の遠足も終わってんだと、ちよっときびしい気がしました。

心に残った遠足

六年三組

松 永 明 守

三月五日のお別れ遠足は、一年から六年まで、それぞれいろいろなコースで観音公園まで行きました。前日が大雨で中止だとばかり思っていたのに、当日はからっと晴れて良かったです。

観音公園では、最後の遠足なので、私達のクラスは、お弁当をクラスの仲間全員で、かたまつて食べました。全員がいっしょに食べるのは、初めてなので、最初みんな少しはずかしていましたが、少しするとパクパクとおいしそうに食べていました。私は、やはり「友達五〜六人と食べるのと、全員で食べるお弁当の味はずいぶんちがう。」と思いました。

弁当を食べ終わって、金子先生と女子数人とで、長なわとびをしました。金子先生が、最後にみんなで記録を作ろう! とはりきっていました。みんな金子先生に負けるまいと、がんばってとんでいました。

とび方は、全員がなわに入るとぶのです。初めのうちは、みんなの息が合わず全然続きませんでした。次々とんでいくうちに、みんなの息が一つになって四十回くらいとべました。みんなももちろん、私もその時の気分は最高でした。

おわかれ遠足

三年一組 岩本 佳子

遠足に行く前に運動場でゲームをしました。一・二年生のつなひきが終わると、三・四年生のコップリレーでした。一組がまけていました。一組だけど、あとでどんだんぬいて、とうとう一組が一番でした。とてもうれしかったです。

五・六年生の大王をつかったゲームの次は、全員でジェンカをおどりました。音楽にあわせてしました。前、後ろ、前、前、前、といてました。わたしたちは、いっばい列ができました。ほかの学年の人もいっしょの列になったので、たのしかったです。ゲームが終わると、遠足に出発しました。行先は、かん音公園です。遠道してきた六年生が、「やっちゃきつか」と、言っていました。

弁当を食べたあとは、ゴムとびやなわとび、ハンカチおとし、インド人の黒んぼなどして遊びました。色々な遊びをしたので、きつかったです。それで、家に帰ったら、いっときねころんでいました。とても楽しかった遠足でした。六年生もよい思い出になったと思います。中学校にいても、わすれないでほしいです。

おわかれ遠足

三年二組

中村 ゆうさく

三月五日に、かんのん公園におわかれ遠足に行きました。おわかれ遠足に行くまえに、六年生のおもいでづくりをしました。一・二年はつなひきを、三・四年はコーヒークップリレーを、五・六年はずじょう玉ころがしをしました。それがおわると、全校でジェンカをしました。そして、かんのん公園に行きました。

かんのん公園に行ったら、ごはんをたべました。そして、先生がしゅうごうのふえをふきました。そうしたら、みんなが、グラランドにあつまりました。そして、全校でゴミひろいをしました。また、みんながグラランドにあつまりました。

それがおわると、町内のはんちようが後ろにならんで、そして、みんなもその後ろにならんでかえりました。とてもたのしかったです。

さよなら——三小

『想い出は遙なり』 六年一組 小島 秋 澄

歳月の流れの短さを、ひしひしと感じた、この十二年間でした。昭和五十年、長男が入学して初めて、育友会に御世話になりました。その長男も四月には大学生になります。十二年間一度も途切れることなく、育友会に在籍しております。校長先生も五人目です。その間、広報部員として四年間、ただ先生方を始め、皆様の足を引っ張っていただけのようないたしませます。又、町内代議員も経験し、故前山会長時にバザーを行ったことが、つい昨日のような気がいたします。その後まもなく、町内子供クラブ対抗の相撲が始まり、六十年には準優勝し、興奮を覚えたものです。ソフトの監督も延六年間経験し、弱いながらも市の大会には必ず出場しました。子供達も大きな財産になったことでしょう。又、我が家では、長男が先生に反抗し呼び出されたり、二男がプロレスごっこで相手に傷つけたり、入学して一年近くも泣いて帰っていたその子も、今では格闘技に青春を燃やして思えます。どの子も、親にとっては、各々の六年間が全て今は楽しい思い出から、中学、高校、あるいは大学と先は長いですが、親は子供を信頼し、スクスクと成長してくれることを念じています。もうPTA会員になることはないでしょうが、この楽しい三小での想い出を宝として、子供も、親も今後役に立たいものです。この十二年間『すばらしい我等の三小』どうもありがとうございます。

十四年間をふり返って 六年二組 濱本 もとる

長男(大学二年)の入学式に胸をはずませて、三小の門をくぐってより十四年間、上の四人の子供達が次々と三小を巣立って行き、末っ子の卒業で、いよいよ三小とお別れの時がきました。ふり返ってみますと頭の中を過ぎした日々の思い出が走馬燈のように駆けめぐって行きます。暑い夏休み、炎天下でのソフトボール大会や、フットボール大会。子供達は暑さにもめげずに、真っ黒になって頑張りました。水しぶきをあげて泳いだプールの納め会、頑張って走った秋の大運動会、寒い中でマラソン大会など、先生方のあたたかい御指導のもと、心身ともに大きく成長致しました。

また、育友会活動の学級対抗親睦バレーボール大会には、たくさんの方々が参加しての楽しい一日でした。島原にはなじみのうすい私達でしたが、十四年間の育友会活動などを通して、多くの方々を知り合い、お友達になることができ、本当に良かったと思っています。懐かしい三小の校舎や運動場を後にして、十四年間お世話になりました校長先生はじめ、諸先生方に厚く御礼申し上げ、心から感謝申し上げます。最後になりましたが、第三小学校育友会の益々の御発展と共に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。ほんとにありがとうございます。

六年間をふり返って 六年三組 西田 ヒロ子

先日、突然この原稿を頼まれ、どのようにしたものかと、とても迷いながら引き受けた次第です。長女も早いものではあるのだからと、この文を書きながら考えてしまいました。ただ何となく毎日／＼の繰返しで終ってしまつたような気がします。私達は、二年前五小から転校して来ましたが、楽天家の長女は、すぐに三小に慣れてくれました。それから一年過ぎて、まだ町内の方の名まえも顔もわからないうちに代議員を任せられ、行事を一つ／＼消化していくたびに、皆さんとも少しずつ顔なじみになっていったような気がします。今までは、お世話になるばかりだったのが、役を任せてみてとても大変な「モノ」を引き受けたものだとつくづく考えたものでした。しかし、親が一生けん命にしていると、子供も自然について来てくれるものです。立派なしつけや教育はできないけれど、親が仕事でも、育友会行事でも、積極的に参加して、私のために頑張ってくれているな」と思ってくれたら、それでいいのではないかと思います。今の時代は、とかく子供にかまひ過ぎるようになっていますが、無関心でもいけないだろうし、あまりやかましくい過ぎても……と力の無い若い私は悩んでいます。が、「どうにかなるさ」とすぐ思うのは、親子よく似た楽天家氣質のようです。

六年間の想い出 六年四組 高原 鉄 男

一人娘の卒業を間近に控え、喜び一杯に心はずませ、母親に手を引かれ、入学したのがつい昨日のように思い出されます。

三小の学校行事、育友会行事等色々、参加させて頂き、多くの皆様と知り合えた事を嬉しく思います。六年間での思い出多い子供クラブの競技大会、親子スポーツの日の相撲大会と親子フットボール大会、運動会での町内対抗リレー、町内対抗バレーボール大会等では、学校や地域社会、子供達とのつながりを認識し、ふれあいの素晴らしさ等、数々の体験をさせて頂き、本当に有り難うございました。感謝の気持ちと、淋しい気持ちで胸がいっぱいです。子供達も、色々な行事を通して、団体生活の厳しさ、難しさ、努力の必要性、チームワークの大切さ、勝つことの喜び、負けた時のくやしさを、根性などを体得し、成長したと思います。これから先、どんな苦難にぶつかろうとも、三小で教わり学んだことを心の糧として、頑張つて進んで下さい。卒業を前に、子供の夢、親の期待が大きくふくらむ今日今頃です。子供と共に伸びよう、お互いに心に誓いたいものです。六年間、本当にありがとうございます。最後になりましたが、第三小学校と、育友会の益々の御発展と、校長先生並びに、諸先生方の御健康を、心よりお祈り申し上げます。

家庭生活に関する

子どもの意識調査について

昭和六十一年十一月、長崎市PTA連合会母親部会の企画で、中心都市八校、郊外都市八校、農漁村九校の小学六学年生二百名を対象とした「家庭生活に関する子供の意識調査」が行われました。その調査の中から、親として気がかりな項目だけ抜粋して、お知らせいたします。今、子供達が、どんな意識を持っているか知る上で、ご参考になれば幸いに思います。

- ・体のこと（健康・体格）
- ・受験・将来のこと
- ・友人のこと
- ・家庭内のこと（兄弟・親）

○悩みや不安がある時には、だれに相談しますか。

- ア、父 10%
- イ、母 41%
- ウ、友達 27%
- エ、その他 28%

○朝食は、必ずとりですか。

- ア、とる 80%
- イ、ときどきとらない 19%
- ウ、とらない 1%

○朝食をとらない日が週に何回ありますか。

- ア、一回 34%
- イ、不規則 47%
- ウ、二回 8%

エ、毎朝 4%

○あなたは、仲の良い友達がいますか。

- ア、たくさんいる 74.6%
- イ、少しいる 24%
- ウ、いない 1.4%

○親がいない時、あなたは何をしていますか。

- ア、学習 12%
- イ、テレビ・雑誌・ゲーム等 63%
- ウ、友達と遊ぶ 13%
- エ、すいみん 4%
- オ、その他 8%

紙面の都合上、以上六項目にとどめますが、小学生ではまだ、気になる結果を示していませんが、これが中学生ともなると、いろいろと子どもたちの心の成長と共に複雑に変化していきます。

親は、絶えず子どもたちの成長を温かく見守り続け、微妙な心のゆれ動きが、読みとれる親でありたいものです。

視点

敏 正 尾 松 会長 副会長 友友会

製作がしやすいからだとか、あげくには自分の知っている限りでは、昔からこの形状であった等々、カンカンガクガクの論争も構成メンバーからして結論が出るべくもなく、会議も打ち切りと相なりました。

日頃、私達が何となく当り前だとか、常識であるからと決めてかかっている事柄も、意外と考え直してみる余地がありそうな気が致します。

先の質問者の様に、全く視点を變えて物を見たり、考えたりする

事も時には必要でしょう。この一年間、役員をしながら何もせずに去っていく自分の言訳ではありませんが、育友会の行事、組織、又、あり方についても、視点を變えてみれば、育友会活動もより面白いものにできるので、と思っております。



さようなら お世話に なりました

三月十一日、お世話になった六年生に感謝とお別れの気持ちをこめて、「六年生を送る会」が行われました。

一・二年生の一生けんめいのかわいい演技——このひたむきさを忘れないでほしい。後に続く三小の後輩たちのために、真つすくな道を開いてほしい。

そんな願いの二時間でした。



好きな給食のベストテン

保健給食部長 松崎 由美子

今回給食部で、六年生と三年生を対象に、「好きな給食のベストテン」ということでアンケートに協力してもらいました。次の通りです。

- ★三年生 ①カレー68人
- ②あげパン58人 ③ハヤシライス53人 ④シチュー23人
- ⑤フルーツミックス17人
- ⑥スパゲティ15人 ⑦ハンバーグサンド14人 ⑧くじらの竜田あげ10人 ⑨カレーうどん9人 ⑩とりのからあげ7人
- ★六年生 ①あげパン87人
- ②カレー60人 ③とりのからあげ33人 ④ドッグサンド32人 ⑤シチュー29人 ⑥スパゲティ28人 ⑦ハンバーグサンド24人 ⑧フルーツミックス23人

⑨ちくわの磯辺あげ16人 ⑩コンソメスープ15人
こうして見ると、両学年共だんぜん「カレー」と「あげパン」に人気が集まっています。しかし、三位以下になると、六年生でドッグサンド32人、ちくわの磯辺あげ16人に
対し、三年生では0人、また、三年生でハヤシライス53人が六年ではわずか6人とおもしろい結果が出ています。学年で好みのちがいがおわかりいただけますか。

また、六年生に給食についての思い出と感想を聞いてみました。低学年の時、早食いや競争をした事。牛乳瓶がパックになり悲しかった事。あげパンを一度に五個食べた事。
温食を運んでやけどした事。嫌いなものが好きになり嬉しかった。家庭で食べられない献立があり美味しかった。など、思い出もたくさんありました。

二月七日に市農林水産課主催で、いわし料理講習会が行なわれ、給食部でも参加し、つみれなど三品を習いました。が、なるほどというアドバイスはばかり。いわしは安価で栄養があり、家庭でも身近な食品です。素朴で懐かしい味を大切に、もう一度いわし料理を見直して見てはいかがでしょうか。

編集後記

松島先生、酒井広報部長と部員十二名のスタッフでスタートしました広報紙「がんばり」作りもアツという間に一年間が過ぎ去ろうとしております。広報部第一回の編集会議の日は強風が吹き、大雨が降ったのを覚えております。そんな中で最初に話し合っ
た事は、本年も学校・育友会行事を主体に企画を進め、内容も充分検討し、少しでも向上した広報紙にしようという事でした。

各号の企画会議、原稿依頼、校正、わりつけを終えて印刷された「がんばり」を手にした時は、この上もない喜びを感じました。
今では本年度最後の「がんばり」九十号の編集も終り、一年間を振り返り色々反省致しております。
最後にこの一年間、ご多忙中貴重な原稿をお寄せ下さいました先生・役員・会員の皆様、本当にありがとうございます。部員一同心よりお礼申し上げます。
(六十一年度広報部員一同)
松島 利彦 多田美千枝
酒井 智好 元村 浩子
横田 一彦 尾上 春美
多田 幸次 小島 君子
野田 彰八 山崎 幹子
寛 小川カズミ
吉岡 内田佳代子
清美